

社団法人日本形成外科学会平成14年度事業報告

I 会 員 の 異 動 状 況

	平成15年2月現在	平成14年2月現在	増 減
名 誉 会 員	36名(含国外14)	38名(含国外14)	－ 2
正 会 員	3,986名	3,901名	＋ 85
外 国 会 員	19名	21名	－ 2
賛 助 会 員	34社	33社	＋ 1
入 会	正215名		
退 会	正109名		

物 故 会 員 (50音順) -敬称略-

名誉会員 たじま 田島 たつや 達也、ながい 永井 いわお 巖

正 会 員 くぼ 久保 よしのぶ 誼修、たかおしょういちろう 高尾昭一郎、たけひさ 武久 やすこ 恭子、とちない 栃内 ひでのり 秀宣、なかたに 中谷 ゆきはる 幸晴

やまもと 山本 けいぞう 桂三

(以上 8名)

II 会 議 に 関 す る 事 項

1. 理 事 会

平成14年度第1回 平成14年7月1日(月) 東京ステーションホテル『富士』

- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 (2) 第11回基礎学術集会の件
 (3) 第46回総会・学術集会の件
 (4) 平成14年度各種委員会活動方針並びに予算案
 (5) 各種委員会報告の件
 (6) 会費滞納者除名の件
 (7) 新入会員・退会会員の件
 (8) その他

平成14年度第2回 平成14年10月2日(水) 仙台国際ホテル『楓』

- 議 事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 (2) 第11回基礎学術集会の件
 (3) 第46回総会・学術集会の件
 (4) 第12回基礎学術集会の件
 (5) 第45回総会・学術集会報告の件
 (6) 平成14年度会計中間報告の件
 (7) 各種委員会報告の件

- (8) 新入会員・退会会員の件
- (9) その他

平成14年度第3回 平成15年2月3日（月）東京ステーションホテル『松』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第11回基礎学術集会の件
 - (3) 第46回総会・学術集会の件
 - (4) 第12回基礎学術集会の件
 - (5) 第47回総会・学術集会の件
 - (6) 平成14年度見込決算並びに平成15年度予算大綱の件
 - (7) 各種委員会報告の件
 - (8) 名誉会員推戴に関する件
 - (9) 会費滞納者除名の件
 - (10) 新入会員・退会会員の件
 - (11) その他

平成14年度第4回 平成15年4月8日（火）神戸ポートピアホテル『松・竹』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第46回総会・学術集会の件
 - (3) 第12回基礎学術集会の件
 - (4) 第47回総会・学術集会の件
 - (5) 第13回基礎学術集会の件
 - (6) 平成14年度収支決算報告並びに平成15年度予算案の件
 - (7) 名誉会員等推戴の件
 - (8) 各種委員会報告の件
 - (9) 会費滞納者除名に関する件
 - (10) 日韓形成外科学会の件
 - (11) 日中形成外科学会の件
 - (12) 新入会員・退会会員の件
 - (13) 評議員提出議題の件
 - (14) その他

2. 評 議 員 会

平成14年度定例評議員会 平成14年4月16日（火）長崎プリンスホテル

- 議 事
- (1) 平成13年度年次報告の件 『サファイアルーム』
 - (2) 平成13年度収支決算書の件
 - (3) 平成14年度事業報告の件
 - (4) 平成14年度収支予算の件
 - (5) 定款改定に関する件
 - (6) 名誉会員および外国会員推挙の件
 - (7) 第45回通常総会・学術集会の件
 - (8) 第46回（次期）通常総会・学術集会の件
 - (9) 第47回（次次期）会長候補者選任の件
 - (10) 第11回基礎学術集会の件
 - (11) 第12回（次期）基礎学術集会の件
 - (12) 第13回（次次期）基礎学術集会会長候補者選任の件
 - (13) 日韓形成外科学会の件
 - (14) 日中形成外科学会の件

- (15) 会費滞納者除名の件
- (16) 評議員提出議題の件
- (17) その他

3. 総 会

平成14年度通常総会 平成14年4月18日（木）長崎ブリックホール2階

- 議 事 (1) 平成13年度年次報告の件 『第1会場』
- (2) 平成13年度収支決算書の件
- (3) 平成14年度事業報告の件
- (4) 平成14年度収支予算の件
- (5) 定款改定に関する件
- (6) 名誉会員および外国会員推挙の件
- (7) 第45回通常総会・学術集会の件
- (8) 第46回（次期）通常総会・学術集会の件
- (9) 第47回（次次期）会長候補者承認の件
- (10) 第11回基礎学術集会の件
- (11) 第12回（次期）基礎学術集会の件
- (12) 第13回（次次期）基礎学術集会会長候補者承認の件
- (13) 日韓形成外科学会の件
- (14) 次期認定医認定委員承認の件
- (15) 日中形成外科学会の件
- (16) 会費滞納者除名の件
- (17) その他

Ⅲ 事 業 報 告

(1) 第45回日本形成外科学会総会・学術集会

会 期：平成14年4月17日（水）、18日（木）、19日（金）

会 場：長崎ブリックホール、長崎新聞文化ホール（長崎市）

会 長：藤井 徹 長崎大学医学部形成外科教授

下記の招待講演、特別講演、シンポジウム、研究発表が行われた。

【招待講演1】 第1日 4月17日（水）司会 東京女子医科大学形成外科

野崎 幹弘

『Conventional orthognathic surgery vs. Gradual distraction in hypoplastic jaw deformities』

Division of Plastic Surgery, Department of Surgery,
U.C.L.A. Center for the Health Sciences

Henry K. Kawamoto, Jr, MD, DDS, FACS

【招待講演2】 第1日 4月17日（水）司会 北海道大学医学部形成外科

杉原 平樹

『Recent surgical techniques in bilateral cleft lip and nose』

Bone Transplantation Research Group, Department of Surgery,
Division of Plastic Surgery, Department of Surgery,
Chang Gung memorial Hospital

M. Samuel Noordhoff, MD.

【招待講演3】 第2日 4月18日（木）司会 東京大学形成外科

波利井清紀

『Functional and Aesthetical Reconstruction in Head and Neck Region』
Division of Plastic Surgery, Department of Surgery,
Chang Gung memorial Hospital

Fu-Chan Wei, MD, FACS

【特別講演】 第2日 4月18日(木) 司会 近畿大学形成外科

上石 弘

『柿右衛門の世界』

人間国宝 十四代 酒井田柿右衛門

【教育セミナー1】 第2日 4月18日(木) 司会 東京医科歯科大学形成外科

秦 維郎

『Perforator flap の基礎と臨床』

岡山大学形成外科 光嶋 勲

【教育セミナー2】 第3日 4月19日(金) 司会 関西医科大学形成外科

小川 豊

『眼瞼下垂の基礎と臨床』

西條クリニック 西條 正城
信州大学形成外科 松尾 清

【シンポジウム1】 第1日 4月17日(水) 司会 京都大学形成外科

西村 善彦

川崎医科大学形成外科

森口 隆彦

『両側口唇裂における鼻形成術の長期成績』

1) われわれが行ってきた両側唇裂外鼻初回形成術の長期成績

慶應義塾大学形成外科 佐久間 恒

2) 両側口唇裂に対するわれわれの外鼻一次形成術の長期成績

北海道大学形成外科 井川 浩晴

3) 両側完全唇裂における早期鼻柱延長の長期成績

昭和大学藤が丘病院形成外科 角谷 徳芳

4) DeHaan 法による両側唇裂手術後の外鼻発育とその修正術

東京医科大学形成外科 渡辺 克益

5) 鼻腔内に新たな切開を要しない両側唇裂鼻変形初回修正術の長期成績

横浜市立大学形成外科 鳥飼 勝行

6) 両側唇裂外鼻への二次的修正における問題点の抽出と初回外鼻同時手術による
問題解決度の評価

信州大学形成外科 杠 俊介

7) 鼻腔底・上口唇筋層再建を重視した両側唇裂の外鼻，口唇同時二次修正手術

香川医科大学形成外科 鈴木 茂彦

8) 両側口唇裂術後の鼻柱延長術

川崎医科大学形成外科 稲川 喜一

9) 両側口唇裂における鼻形成術の長期成績—特に鼻柱延長の術式に対する検討—

昭和大学形成外科 保阪 善昭

【シンポジウム2】 第1日 4月17日(水) 司会 東北大学形成外科

山田 敦

『血行不良な皮弁に対する救済法』

- 1) 遊離皮弁による外傷後各種再建における血行不良の原因と救済法
千葉県救急医療センター形成外科 木村 直弘
- 2) 血行不良な遊離皮弁の救済法
埼玉医科大学形成外科 井上 義治
- 3) マイクロサージャリー手術における血行不良皮弁の救済法
埼玉成恵会病院形成外科 平瀬 雄一
- 4) 血行不良な皮弁の壊死メカニズムと壊死救済法
香川医科大学形成外科 宗内 巖
- 5) 過去10年間にを行った遊離組織移植症例に関する検討
岡山大学形成再建外科 難波祐三郎
- 6) 移植組織静脈側灌流不全に対する救済法
東京女子医科大学形成外科 桜井 裕之
- 7) 静脈吻合付加（一時的静脈シャントを含む）による皮弁の救済と血行改善
久留米大学形成外科 井上要二郎
- 8) 血行不良な皮弁に対する救済方法 交流磁場曝露による鬱血性皮弁壊死の救済
国家公務員共済組合連合会立川病院形成外科 福積 聡
- 9) 動静脈瘻作成による皮弁救済法 -血管再吻合部の血流増強による血栓形成予防-
日本大学形成外科 佐々木健司
- 10) 血栓除去用バルーンカテーテルを用いた移植組織救済法
埼玉医科大学形成外科 中川 雅裕

【シンポジウム3】 第2日 4月18日（木） 司会 昭和大学形成外科

保阪 善昭

日本大学形成外科

佐々木健司

『Vascular malformation に対する硬化療法の適応と限界』

- 1) 頭頸部 Vascular malformation に対する硬化療法の適応と限界
東京女子医科大学形成外科 桜井 裕之
- 2) Vascular Malformation に対する硬化療法の適応とその限界について
昭和大学形成外科 渡邊 彰二
- 3) Vascular malformation に対する硬化療法の経験：適応と限界
北海道大学形成外科 佐々木 了
- 4) Vascular malformation に対する硬化療法
東北大学形成外科 平野 哲
- 5) 血管奇形のタイプによる塞栓硬化療法の適応
東京大学形成外科 加地 展之
- 6) High Flow Type Vascular Malformation に対する硬化療法の限界をふまえた治療の適応
同愛記念病院形成外科 大内 邦枝

【シンポジウム4】 第2日 4月18日（木） 司会 久留米大学形成外科

田井 良明

名古屋大学形成外科

鳥居 修平

『下腿難治性潰瘍治療の現況と展望』

- 1) 当科における下腿難治性潰瘍に対する **strategy**
岡山大学形成外科 月野 暁彦
- 2) 下腿潰瘍に対する直線偏光型近赤外線治療装置の応用
長浜赤十字病院形成外科 黒川 正人
- 3) 下腿難治性潰瘍における大網の有用性
名古屋大学形成外科 亀井 譲
- 4) 血管柄付き組織移植を適用した **Diabetic foot** の治療の現況
松江赤十字病院形成外科 梶 彰吾
- 5) 当科における下肢静脈性潰瘍に対する診断および治療の検討
東京女子医科大学形成外科 八巻 隆
- 6) 下肢静脈瘤離断後硬化療法における再発例と今後の対策について
横浜労災病院形成外科 堀 茂

【シンポジウム5】 第3日 4月19日(金) 司会 東海大学形成外科
谷野隆三郎
美容外科サフォッククリニック
白壁 征夫

『最近の Facial Rejuvenation Surgery』

- 1) 複数のパルスレーザーを用いた **Skin Rejuvenation**
林形成外科クリニック 林 洋司
- 2) 当施設での **facial rejuvenation** 治療
東京大学形成外科 吉村浩太郎
- 3) **Intense Pulsed Light(IPL)**による **Facial Rejuvenation Surgery**
大阪医科大学形成外科 丸山 成一
- 4) **Facial rejuvenation surgery** における脂肪注入術の応用と意義
いちだクリニック 市田 正成
- 5) 眼瞼の **Rejuvenation Surgery**
メガクリニック 高柳 進
- 6) **Facial rejuvenation surgery** ; われわれの術式
愛知医科大学形成外科 福田 慶三
- 7) 4種の **Face lift** 術式における特徴と効果の比較
北里研究所病院美容医学センター 宇津木龍一
- 8) **Cable-SutureTechnique** による **Midface Rejuvenation** の経験
サフォッククリニック 鈴木 芳郎

【デイベート1】 第1日 4月17日(水) 司会 慶應義塾大学形成外科
中嶋 英雄

『頭蓋縫合早期癒合の頭蓋形成(一期的再建 vs. 骨延長)』

- 1) 頭蓋縫合早期癒合に対する一期的再建
近畿大学形成外科 小坂 正明
- 2) **Team Approach** の観点からみた **Craniosynostosis** の治療
International Craniofacial Institute Cleft Lip and Palate Treatment Center 山田 朗
- 3) 骨延長法は一期的再建法に優るものか
大阪市立総合医療センター形成外科 今井 啓介
- 4) 頭蓋縫合早期癒合症の頭蓋形成 **distraction vs conventional plasty**
自治医科大学形成外科 菅原 康志

- 【ディベート2】 第2日 4月18日(木) 司会 長崎大学形成外科 平野 明喜
- 『下顎骨関節突起骨折の治療(保存的 vs. 観血的)』
- 1) 下顎骨関節突起骨折の治療(観血的)
金沢医科大学形成外科 川上 重彦
 - 2) 下顎関節突起骨折の治療—どのような骨折を手術対象にするのか—
岡山赤十字病院口腔外科 永山 久夫
 - 3) 下顎骨関節突起骨折の治療—保存療法—
東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚・運動機能学講座 高戸 毅
 - 4) 下顎骨関節突起骨折の保存療法について
市立岸和田市民病院形成外科 久徳 茂雄

- 【ディベート3】 第3日 4月19日(金) 司会 新潟大学形成外科 柴田 実
- 『指尖部切断(再接着 vs. 皮弁)』
- 1) 指尖部切断再接着
大津赤十字病院形成外科 石川 浩三
 - 2) 指尖部切断症例における再接着術の工夫
東京女子医科大学形成外科 菊池 雄二
 - 3) 指尖部切断・皮弁法(爪床 composite graft との併用)
埼玉成恵会病院形成外科 平瀬 雄一
 - 4) 指尖部切断に対する thener flap 変法の有用性
帝京大学形成外科 館 正弘

(2) 第11回日本形成外科学会基礎学術集会

会 期：平成14年10月 3日(木)、4(金)

会 場：仙台国際センター(仙台)

会 長：山田 敦 東北大学医学部形成外科教授

下記の招待講演、教育講演、シンポジウムその他、研究発表が行われた。

- 【招待講演1】 第1日 10月3日(木) 司会 東京女子医科大学形成外科 野崎 幹弘
- 『The Potential of Tissue Engineering in Plastic Surgery, Orthopaedics and Other Medical Specialties』
- Department of Biochemistry and Molecular Pathology
Northeastern Ohio Universities College of Medicine, USA
Prof. William J. Landis

- 【招待講演2】 第2日 10月4日(金) 司会 北海道大学形成外科 杉原 平樹
- 『PRINCIPLES OF TISSUE ENGINEERING CARTILAGE』
- Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, USA
Mark A. Randolph

- 【教育講演1】 第1日 10月3日(木) 司会 川崎医科大学形成外科 森口 隆彦
- 『頭蓋顔面の発生はどこまで分子の言葉で語れるようになったか?』
- 東北大学大学院医学系研究科器官構築学分野 大隈 典子

【シンポジウム】 第1日 10月3日(木) 司会 東京医科歯科大学形成外科 秦 維郎
 関西医科大学形成外科 小川 豊

『形成外科領域における遺伝子解析の最前線』

- 1) 頭蓋骨縫合早期癒合症候群の遺伝子解析とその生物学的効果
 徳島大学医学部附属病院形成外科 松本 和也
- 2) 日本人口唇・口蓋裂における TGFA 遺伝子、TGFB2 遺伝子、及び TGFB3 遺伝子の関与の検討
 東北大学医学部形成外科 菅野貴世史
- 3) 家族性単純性欠陥腫の責任遺伝子の検索
 -Linkage Analysis により 5 番染色体 (5q13-14) に存在することが判明
 昭和大学形成外科 渡邊 彰二
- 4) ケロイドの病態形成と遺伝子発現
 京都大学大学院医学研究科形成外科 内藤 素子
- 5) ケロイド原因遺伝子の解明および新しい治療法の確立を目指して
 日本医科大学付属第二病院形成外科 土佐真美子
- 6) cDNA マイクロアレイ法を用いた、坐骨神経切断後に切断抹消側に発現する神経再生を促進する遺伝子の探索とその解析
 大阪大学医学部形成外科 久保 盾貴

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第22巻 2号	平成14年 2月	86頁	4,050部
第22巻 3号	平成14年 3月	95頁	4,050部
第22巻 4号	平成14年 4月	85頁	4,050部
第22巻 5号	平成14年 5月	63頁	4,050部
第22巻 6号	平成14年 6月	61頁	4,050部
第22巻 7号	平成14年 7月	55頁	4,050部
第22巻 8号	平成14年 8月	69頁	4,050部
第22巻 9号	平成14年 9月	75頁	4,050部
第22巻10号	平成14年10月	55頁	4,050部
第22巻11号	平成14年11月	60頁	4,150部
第22巻12号	平成14年12月	63頁	4,150部
第23巻 1号	平成15年 1月	87頁	4,150部

(4) Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery を発行した。

第36巻 1号	平成14年 4月	64頁	3,950部
第36巻 2号	平成14年 6月	63頁	3,950部
第36巻 3号	平成14年 7月	63頁	3,950部
第36巻 4号	平成14年11月	59頁	3,950部
第36巻 5号	平成15年 1月	63頁	3,950部
第36巻 6号	平成15年 2月	59頁	3,950部

(5) 学術研修会およびインストラクショナル・コースを下記の通り開催した。

1) 学術研修会

日 時；平成14年4月16日（火）午後1時30分～午後5時

会 場；長崎ブリックホール『国際会議場』

テーマ；矯正歯科の知識、手の外科の知識

題目および講師

矯正歯科の知識

1) 骨切り前の矯正歯科治療

東京歯科大学 一色 泰成

2) 小児・矯正歯科

藤田保健衛生大学医学部歯科 桑原未代子

3) 顎裂部骨移植に際しての矯正歯科治療

東北大学歯学部 幸地 省子

手の外科の知識

1) 手の外傷、腱縫合・弾撥指

新潟大学形成外科 柴田 実

2) 手の先天異常の治療

東京慈恵会医科大学形成外科 栗原 邦弘

2) インストラクショナル・コース

日 時；平成14年10月2日（水）午後1時30分～午後5時

会 場；仙台国際センター『橘』

テーマ；鼻の整容外科

題目および講師

1) 隆鼻術（シリコンインプラント）

中野坂上クリニック 古川 晴海

2) 隆鼻術（耳介軟骨移植）・鼻尖形成

横浜南共済病院形成外科 大竹 尚之

3) 鼻翼形成

セブンベルクリニック 渡部 純至

4) 骨・軟骨性鼻変形

東海大学形成外科 谷野隆三郎

5) 鼻の美容外科後遺症

いちだクリニック 市田 正成

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成14年度専門医合格者氏名（受付順敬称略）

今井 啓道、菊地 憲明、小林 直隆、岡垣真寿美、増田 竜児、林 利彦
百澤 明、依田 拓之、芳田 辰也、竹本 剛司、岡野 純子、増井 裕子
伊木 秀郎、安井 浩司、望月 靖史、藤原 雅雄、花垣 博史、松尾あおい
松田 健、古泉 佳男、身原 弘哉、伊能 和彦、今澤 隆、白壁 理志
加藤 剛志、松本 文昭、清水 サラ、池田 欣生、矢野 浩規、華山 博美
宇田 宏一、久保 盾貴、松尾 伸二、永松 将吾、吉永 理香、川崎 裕史
石丸さやか、築野 真理、宮里 修、扇 博之、陳 建穎、中谷 恭子
宇井 啓人、橋本 信子、岩城 啓修、力久 直昭、小林 貴、糸井由里恵
福島 淳一、水野 元子、木下 浩二、千明 美保、東 隆一、島中 弘輔
飯島 三佳、竹下 文子、黒田 正義、谷 祐子、田中 真輔、三上 太郎
藤原 貴史、佐藤克二郎、朝村 真一、野町 健、片桐 順和、眞鍋 幸嗣
漆舘 聡志、岡 敏行、山田 信幸、饗場恵美子、山脇 聖子、石原 博史

松島 貴志、佐々木晴恵、伊東 大、梶谷 正子、近藤奈穂子
合計 77 名（応募者 84 名）

（７）日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成 14 年度新認定施設名

【地 区】	【施 設 名】	【登録番号】
北 海 道	市立函館病院形成外科	03-116A
関 東	成田赤十字病院形成外科	03-389A
	東邦大学医学部附属佐倉病院形成外科	03-390A
中 部	小牧市民病院形成外科	03-553A
関 西	京都桂病院形成外科	03-652A
	大阪赤十字病院形成外科	03-653A
中国・四国	鳥取大学医学部附属病院形成外科	03-730A

（８）日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A）平成 14 年度専門医更新者氏名（順不同敬称略）

石原 剛、横内 哲博、義本 裕次、奥田 裕章、橋田 直久、林 博之
水野 貴史、久島 英雄、吉田 益喜、藤井 勝善、飯田 直成、古川 雅英
北野 幸恵、市野 直樹、佐々木雄史、江副 京理、古川 元祥、田中 聡
町野 重昭、下間亜由子、大谷 謙太、副島 宏美、杠 俊介、鎌田 聡
館 正弘、西本 聡、亀井 譲、近藤加代子、加藤 久和、大井 克之
松倉 知之、竹内 章晃、日笠 壽、江崎 茂、中東 和彦、高梨 真教
岡崎 正、木村 裕明、堀 直博、竹野 巨一、姫路 完、阿部 直樹
鈴木 健司、木村 哲治、大場 創介、片平 次郎、下田 勝巳、磯野 伸雄
河田 真作、小川祐一郎、原元 潮、吉龍 澄子、佐武 利彦、山崎 明久
村上 正洋、大木更一郎、高濱 宏光、山本 達、棚橋 慎治、水沼 雅斉
大塚 佳子、今野みどり、栗本紗里奈、峯岸 祐之、佐瀬 道郎、千島 康稔
高松 亜子、寺井 勉、門松 香一、田所 丈嗣、土屋 裕一、寺田 伸一
以上 72 名（申請者 72 名）

B）日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第 11 条並びに専門医制度細則

第 29 条第 4 項により専門医資格を取り消される者（順不同敬称略）

青柳 玲、松本 晶子、大堀 重法 以上 3 名

（９）平成 15 年度評議員選挙を行った。

平成 15 年度評議員選挙管理委員会

委 員 長：土佐 泰祥

副委員長：平 広之

委 員：井上 雅博、川那部岳志、工藤 聡、田邊 雅祥、林 和弘
村上 正洋、吉澤 直樹

予備委員：櫻井 裕之、佐瀬 道郎、多久島亮彦、千島 康稔

計 5 回の委員会を開催し、定款並びに評議員選挙施行細則に基づき選挙を行った。
開票の結果、下記 150 名の新評議員を決定した。

【北海道・東北支部（定数 16 名）】

阿部 清秀、井川 浩晴、上田 和毅、後藤 孝浩、小林誠一郎、沢田 幸正、新富 芳尚

杉原 平樹、福屋 安彦、藤田 龍哉、本庄 省五、湊 祐廣、山田 敦、山本 有平
吉田 哲憲、四ッ柳高敏

【関東支部（定数66名）】

相原 正記、秋月 種高、秋元 正宇、朝戸 裕貴、井砂 司、一瀬 正治、井上 義治
岩波 正陽、岩平 佳子、宇田川晃一、内田 満、内沼 栄樹、大久保文雄、大城 俊夫
大西 清、大森喜太郎、緒方 寿夫、金子 剛、菊池 雄二、清澤 智晴、熊谷 憲夫
栗原 邦弘、小林 正弘、酒井 成身、櫻井 淳、提箸 延幸、佐々木健司、佐藤 兼重
柴田 実、白壁 征夫、角谷 徳芳、高戸 毅、谷野隆三郎、鳥飼 勝行、中北 信昭
仲沢 弘明、中島 龍夫、中嶋 英雄、中塚 貴志、中山 凱夫、西村 正樹、二ノ宮邦稔
野崎 幹弘、秦 維郎、林 博之、原口 和久、波利井清紀、百束 比古、平林 慎一
保阪 善昭、堀 茂、前川 二郎、松浦慎太郎、松崎 恭一、松村 一、丸山 優
三鍋 俊春、宮坂 宗男、村井 繁廣、梁井 皎、山崎 明久、山田 直人、吉村浩太郎
吉本 信也、若松 信吾、渡辺 克益

【中部支部（定数16名）】

青山 久、石倉 直敬、井上 邦雄、岩澤 幹直、上野 輝夫、岡本 泰岳、奥本 隆行
嘉島 信忠、亀井 譲、川上 重彦、鳥居 修平、平敷 貴也、朴 修三、松尾 清
横尾 和久、吉村 陽子

【関西支部（定数24名）】

石川 浩三、磯貝 典孝、上田 晃一、小川 豊、垣淵 正男、上石 弘、久徳 茂雄
楠本 健司、澤田 正樹、鈴木 義久、辰巳 英章、田中 嘉雄、塚原 孝浩、土井 秀明
内藤 浩、西野 健一、野瀬 謙介、橋爪 慶人、波床 光男、藤川 昌和、細川 互
前田 求、村岡 道德、矢野 健二

【中国・四国支部（定数12名）】

大塚 壽、梶 彰吾、毛山 章、光嶋 勲、小山 久夫、茂木 定之、鈴木 茂彦
中西 秀樹、浜中 孝臣、宮本 義洋、村上 隆一、森口 隆彦

【九州支部（定数16名）】

秋田 定伯、石原 剛、井上要二郎、今里賢一郎、上村 哲司、大慈弥裕之、清川 兼輔
小藺喜久夫、田井 良明、田中 克己、奈良崎保男、西村 剛三、平野 明喜、迎 伸彦
森岡 康祐、和田 秀敏

（10）日本形成外科学会が認定する「専門医」の広告が可能となった。

厚生労働省ホームページより

平成15年2月24日

医療に関する広告が可能となった医師等の専門性に関する資格名等について

平成14年4月1日付けの医療機関の広告規制の緩和に伴い、医師等の専門性に関し、告示で定める基準を満たすものとして厚生労働省に届出がなされた団体の認定する資格名が広告できることとなりました。平成15年2月24日より、（社）日本形成外科学会、（社）日本病理学会及び（社）日本内科学会の資格名が広告可能となりました。これにより医師等の専門性に関する資格名を広告できる団体が追加され、以下の11団体となりました。

○（社）日本整形外科学会	整形外科専門医
○（社）日本皮膚科学会	皮膚科専門医
○（社）日本麻酔科学会	麻酔科専門医
○（社）日本医学放射線学会	放射線科専門医
○（財）日本眼科学会	眼科専門医
○（社）日本産科婦人科学会	産婦人科専門医
○（社）日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医
○（社）日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医
○（社）日本形成外科学会	形成外科専門医
○（社）日本病理学会	病理専門医
○（社）日本内科学会	内科専門医

【参考】

○医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関して広告することができる事項（平成14年3月29日厚生労働省告示第158号）

二十六 別に厚生労働大臣が定める研修体制、試験制度その他の事項に関する基準に適合するものとして厚生労働大臣に届け出た団体が行う医師及び歯科医師の専門性に関する認定を受けた旨

○厚生労働大臣が定める研修体制、試験制度その他の事項に関する基準（平成14年3月29日厚生労働省告示第159号）

医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関して広告することができる事項第二十六号に規定する厚生労働大臣が定める研修体制、試験制度その他の事項に関する基準は、次の各号に掲げる基準とする。

- 一 学術団体として法人格を有していること
- 二 会員数が千人以上であり、かつ、その八割以上が医師又は歯科医師であること
- 三 一定の活動実績を有し、かつ、その内容を公表していること
- 四 外部からの問い合わせに対応できる体制が整備されていること
- 五 医師又は歯科医師の専門性に関する資格（以下「資格」という。）の取得条件を公表していること
- 六 資格の認定に際して五年以上の研修の受講を条件としていること
- 七 資格の認定に際して適正な試験を実施していること
- 八 資格を定期的に更新する制度を設けていること
- 九 会員及び資格を認定した医師又は歯科医師の名簿が公表されていること